

## ご挨拶



代表取締役会長 岩井 孝之 代表取締役社長 森田 周平

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年10月1日に、常務執行役員を務めておりました森田周平が当社の新たな代表取締役社長に就任いたしました。あらためてご報告申し上げるとともに、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社は1965年の設立以来、「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」「富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する」という経営理念のもと事業を営み、2025年4月に60周年を迎えます。創業家による経営を刷新し、次なる挑戦へつなぐタイミングでもあります。「女性医療で新たな価値を創出し続け、誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する」という長期ビジョンの実現に向けて、当社はこれからも成長を続けてまいります。

## 財務ハイライト

POINT.1

売上高は主力製品や新製品の伸長、一部製品の薬価引き上げ等により、過去最高を記録しました。

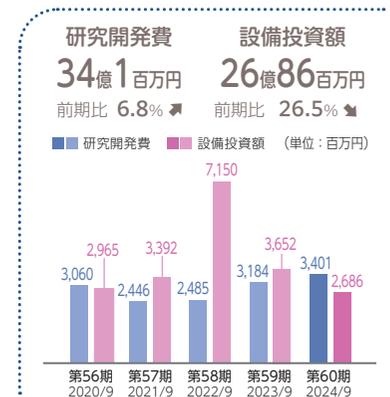
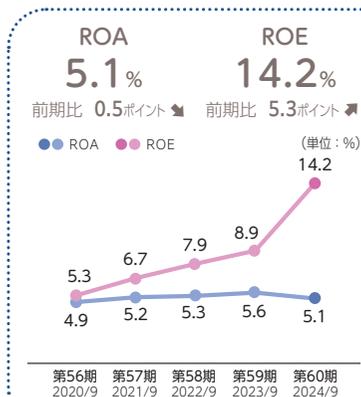
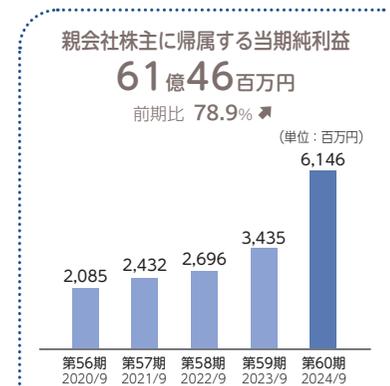
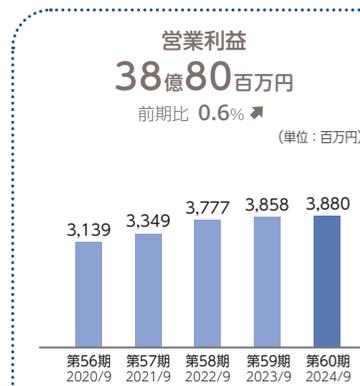
POINT.2

営業利益は原材料高などによる利益率の低下、研究開発や新製品の販売体制強化への先行投資によるコスト増で、前期比横ばいとなりました。

POINT.3

親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券の売却益などにより、前年同期比27.1億円増となりました。

※ 2022年9月期より会計基準を変更しております。



## 2024年9月期の業績と前中期経営計画の総括

当社を取り巻く経営環境は、少子高齢化の進展などを受けて医療費を抑制する動きが強まり、後発医薬品への切り替えや薬価制度の見直しが進んでおります。現在薬価改定は実質毎年行われており、事業環境は厳しさを増しておりますが、当期当社製品の平均薬価改定率は+1.2%でした。また、自社開発新薬として2021年11月に発売した黄体ホルモン製剤「エフメノ®カプセル」が販売を伸ばし、バクスター・ジャパン株式会社との国内独占販売契約のもと、2023年1月より販売を開始した抗悪性腫瘍剤「ドキシル®」をラインナップに加えたことなどから、当期の売上高は過去最高の461億38百万円(前期比12.8%増)、営業利益は38億80百万円(同0.6%増)となりました。

前中期経営計画期間は、新型コロナウイルス感染症の拡大や環境への取り組み、働き方改革の加速など、経営環境が激変した5年間でした。岩井を社長とした新体制で、業態転換を見据えた布石を打つことを目標とし、富山工場への設備投資や新薬パイプラインの開発を進めることができました。最終年度となる2024年9月期に月経困難症治療剤として「アリッサ®配合錠」の製造販売承認取得 **Topics.1**、「ウステキヌマブBS皮下注シリンジ[F]」に続くバイオシミラー3製品の製造販売承認申請を行うことができたこと **Topics.2** は、患者さまに新たな治療選択肢を提供できる大きな機会となると考えています。また、事業を持続的に発展させるため、サステナビリティや人財育成を行い、成長の基盤となる環境も整備することができました。

## 2025年9月期の見通し

自社開発新薬として2024年12月3日に販売を開始した「アリッサ®配合錠」、2024年9月期の新製品である「ウステキヌマブBS皮下注シリンジ[F]」など数品目、2024年9月期の売上高に貢献した「エフメノ®カプセル」などの販売拡大を見込み、売上高53,360百万円(2024年9月期比15.7%増)、営業利益4,850百万円(同25.0%増)を計画し、過去最高業績を更新いたします。

株主還元については、次期配当予測1株45.50円(中間配当金20.00円、期末配当金25.50円(普通配当22.50円、記念配当3.00円))とし、今後も配当性向30%を維持してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献していく当社事業の発展にご期待頂き、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Topics.1

### 月経困難症治療剤アリッサ®配合錠(FSN-013)の薬価基準収載および販売開始

本年9月、月経困難症治療剤として「アリッサ®配合錠」が製造販売承認を取得、11月に薬価基準収載後、12月3日より販売を開始しております。

本剤は、当社がEstetra SRL社から導入した、本邦で初めて天然型エストロゲンのエストロール(E<sub>4</sub>)とドロスピレノンの配合剤です。

エストロール(E<sub>4</sub>)は、日本における新規有効成分であり、エストロゲンの受容体に選択的に作用することが確認されています。



 2024年11月19日当社リリース

## Topics.2

### バイオシミラー3製品の承認申請

本年9月から10月にかけて、あらたに3製品のバイオシミラーにつき、製造販売承認申請を行いました。

当社は2018年11月にAlvotech社(本社:アイスランド)との間でパートナーシップに合意しており、3製品は同社と条件合意したバイオシミラーパイプラインの製品です。

日本市場において高品質なバイオシミラーをいち早く患者さまにお届けし、医療現場や医療経済においても今まで以上に貢献できるよう、引き続き取り組んでまいります。

 2024年 9月30日当社リリース  
2024年10月18日当社リリース  
2024年10月29日当社リリース

# Top Message

## ご挨拶

皆さまの平素のご支援に厚く御礼申し上げます。この度、代表取締役社長を拝命しました森田です。創業家の今井精一、今井博文が大切にしてきた想いを継承し、前任の岩井孝之が取り組んできた新たな価値提供への道筋をしっかりと受け継ぎ、一層の成長と貢献に向けて取り組んでまいります。

## 当社での歩み

私は2010年当社に入社しました。入社後は医薬情報担当者(MR)として、当社医薬品の情報提供活動に従事し、安心安全な製品を適切な情報とともにお届けしてまいりました。その後、営業本部長として当社の市場におけるプレゼンスの向上を図ってまいりました。2016年からは執行役員を拝命し、その責務の重大さを感じながら、頂いた責任に伴う価値をご提供できるよう努めてまいりました。

その後、SCM部で原材料の調達から製品出荷までを管理する立場となり、生産に関わる各機能、営業本部との連携を通じて供給制限品目の半減など安定供給体制の構築に取り組みました。それまでとは異なり、調達から販売までのプロセスを俯瞰で見ることができたこの経験は、当社の届ける価値を再認識するとても貴重な経験でした。

経営企画部長に就任後は、生産、営業、研究開発、信頼性保証、コーポレート、海外グループ会社のOLICと連携することで、事業計画の推進、全社機能の把握、2025年9月期

からスタートした5か年の中期経営計画の策定を主導してまいりました。

## バトンを受け継いで

これまで当社は、創業家による経営を続けてまいりました。こうした経営により、大切にしたい想いを広く・深く浸透させることができたと考えておりますが、同時に今井の示す方向性に頼ってきた部分もあると感じております。60周年という区切りである今回、次なる挑戦をしていく大切なタイミングとして、社員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

2024年10月2日には、私のコミットメントおよび長期ビジョン2035を、11月25日には新中期経営計画をお示しいたしました。「女性医療で新たな価値を創出し続け、誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する」というビジョンを実現するため、さらなる挑戦と成長を加速させてまいります。

## 株主の皆さまへ

女性活躍推進が求められる中、女性が直面する健康課題は大きな障壁となっております。当社が50年にわたり取り組んできた注力領域である女性医療事業は、まさに社会から求められる事業となっていると考えております。これからも女性医療領域を軸として、持続的に成長と貢献の幅を拡げていける企業を目指し、全力で取り組んでまいります。株主の皆さまには、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

変えないこと、変えることを明確にし、  
さらなる挑戦を通じて成長を加速させます。

代表取締役社長 森田 周平

## 長期ビジョン2035と新中期経営計画

当社は、経営理念として「優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する」「富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する」を掲げております。富士製薬工業グループが経営理念である「成長」と「貢献」のサイクルをより一層循環させ、将来にわたって価値を生み出し続ける姿として、『長期ビジョン2035』を発表いたしました。

また、長期ビジョン2035を実現していくため、これからの5年間で取り組む4つの成長戦略とそれを支える3つの施策を中期経営計画としてまとめました。

「女性医療で新たな価値を創出し続け、誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する」という長期ビジョン2035の実現に向け、取り組んでまいります。

# 長期ビジョン2035

## 女性医療で新たな価値を創出し続け、 誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する

### 中期経営計画

(2025年9月期～2029年9月期)

#### 成長ドライバー

中期

女性領域での  
貢献拡大

バイオシミラー事業  
の成長

グローバルCMO事業  
の成長

長期

次の成長に向けた  
戦略投資

#### 経営基盤の強化

人財の強化

組織機能の高度化

デジタルの推進

詳細はHPをご覧ください。  
[https://www.fujipharma.jp/ir/management\\_plan/](https://www.fujipharma.jp/ir/management_plan/)

### 株主メモ

事業年度  
毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会  
毎年12月開催

基準日  
定時株主総会:毎年9月30日  
期末配当金:毎年9月30日  
中間配当金:毎年3月31日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法  
電子公告(当社ホームページに掲載)  
<https://www.fujipharma.jp/ir/announce/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 照会先 ☎ 0120-782-031  
ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

上場証券取引所  
株式会社東京証券取引所 プライム市場

#### IRに関するお問い合わせ

本社/経営戦略本部 経営企画部  
コーポレートコミュニケーション課  
〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7  
泉館文人通り6F

お問い合わせフォーム

<https://www.fujipharma.jp/inquiry/>

 富士製薬工業株式会社

見やすいユニバーサルフォント  
を使用しています。

 UD  
FONT